

乙訓平和委員会ニュース

発行年月日 2024年2月25日 No.471 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

3年目に入るウクライナ戦争と日中戦争の類似性 ロシアは戦闘を停止せよ

ロシアのウクライナ戦争は、ロシア軍の侵攻開始から丸2年がたち、戦争は3年目に突入しました。この戦争を機に、ロシア対NATOの対立構図が強まり、まるでウクライナがNATOの代理で戦争をしている様相を示しています。

さらに、パレスチナ独立国家をめざすハマスが23年10月にイスラエルを攻撃したのを機に、イスラエル軍のパレスチナ自治区への報復軍事進攻が始まり、住民が追い詰められ、犠牲者が増大して、ジェノサイドだと国際的なイスラエル批判が集中しています。

日本は1931年に中国への侵略（満州事変）を始め、1937年には全面戦争になり、さらに1941年には英国、米国などとの戦争（太平洋戦争）に拡大しました。いま二つの戦争が同時進行の中で、かつての日本が起こした戦争と今のロシアのウクライナ戦争は多くの類似性（表参照）があります。

一刻も早く戦争終結を願います。

「平和運動」誌3月号（No.635）に掲載された山田朗氏（明治大学教授）の講演録から要点を紹介します。

（文責：米重節男）

（2面に別記事）

共通点	ロシア	旧大日本帝国(1930年～1945年)
国際的位置	軍事大国・国連常任理事国	軍事大国・国際連盟常任理事国(のち脱退)
侵略成功例と第2目標	2014年のクリミア併合、さらにウクライナ南部の州併合を目論む	満州事変で「満州国」を建国、盧溝橋事件で華北5省切り取り(第二満州国)をめざす
相手国内の結束強化	ウクライナ国内はバラバラだったが、対ロシアでゼレンスキー政権に団結	国共合作で、抗日統一戦線で抵抗
誤算による戦争の長期化	「首都キーウを攻略でゼレンスキー政権は崩壊」が崩れ3年目に	首都南京占領しても蒋介石政権は重慶に逃れて抵抗、泥沼化して太平洋戦争につながった
支援	ウクライナへのNATO、同盟国などの軍事支援が強化。NATOが拡大。	英米仏ソが中国への軍事支援。日本の同盟国ドイツも中国への武器輸出継続。
犠牲者	実態は不明。両軍で数十万人の死傷者。ウクライナはロシアの空爆で市民が多数犠牲に。正確な数は戦争終了しなければわからない。	日本の軍人・国民の死者数は約310万人。中国の軍人・国民の死者数は約1321万人。

「昨日は祖父の誕生日」

昨日(2月11日)、長野の祖父の誕生日でした。その日は祝日なので、祖父はもう亡くなっていますが、毎年思い出します。

私は毎年夏に電車で8時間くらいかけて、いつも長野に行って2、3週間、滞在していました。祖父の家には祖母と犬と猫がいました。猫の名前はミーシャと言って3代に渡って、その名前でした。

祖父は寝る前はいつも坐禅をしていました。私が真似をすると、若いうちは坐禅をしない方がいいよ、と言われてました。他にも囲碁を、テキストを見ながら打っていました。テキストは、確か『レッツ碁』というタイトルでした。

親父側の私のいとこは年上が多く、昔は祖母・祖父を囲んでおじ・おばも多勢集まって話をしている風景を覚えています。何の話をしているかわからないので、弟ともう寝てしまいます。



戦前、長野は新潟に次いで満州に移住した人が多いと聞きます。当然、祖父も満州に移住しようと思い、祖母に相談をしたそうです。祖母は一言、「あんた一人で行ってきな」と。もし行っていたら、祖父も親父も戻って来られなかったかもしれません。戦後、おそらく祖父は自分の判断に自信を失ったのかもしれませんが。鶏小屋を作るのにも、祖母に判断を委ねたそうです。戦争中というのは、その判断が生き死に直結するくらい重かったのでしょうか。

私が長野を離れる時、祖父はいつも最寄りの無人駅まで見送りに来てくれました。電車が駅を離れます。駅の方を見ると、祖父が泣いていました。今もその風景を忘れられません。

このような話を書くと、本当に今は昔です。

私も50歳になり、半世紀を生きてきました。

祖父も祖母も今頃天国で、ミーシャ(猫)や犬たちとのんびりしているのでしょうか。

祖父の優しさはこれからも私の中で生きていくと思います。

(24.02.12)

2024年3.1ピクニテ-日本原水協全国集会乙訓視聴会

乙訓視聴会場を設けます。参加希望の方は米重まで連絡ください。

日時：2024年2月29日(木) 13時～15時(開場は12時45分)

場所：乙訓地労協事務所1階会議室